



大阪・関西万博開催1周年記念

『ポルトガル・パビリオン展』

ポルトガル北部の村の伝統的なカーニバルに登場する精霊

カレットス・デ・ポデンセ



ウミ

ポルトガルと日本をつなぐ公式マスコット

令和8年

8/13^(木) ~ 9/16^(水)

会場 鉄砲館 (種子島・西之表市)

パビリオン展の観覧は **無料**

来場者には
ポルトガル
パビリオンの
ピンバッジを贈呈
(数に限りがあります)





大阪・関西万博開催1周年記念

ポルトガル・パビリオン展

展示の目的と主な展示資料

展示の目的

ポルトガルとは、1543年の鉄砲伝来を縁に、現在まで西之表市との交流が続いています。万博展示資料を紹介し、歴史的な縁を『今』の交流へ結び付けます。



主な展示資料

1



コルクブロック

ポルトガルは世界有数のコルク生産国です。パビリオンのホールやレストランの床材として採用された「トッパーアートコルク」。

2



食器類

レストラン・カフェで使われた食器類。箸置きは万博用の特製品。

3



カレトス・デ・ポデンセのフィギュア

ポルトガル北部ポデンセ村の伝統的なカーニバルに登場する「精霊」。2019年、ユネスコ無形文化遺産に登録。

4



ポルトガルギター

この形と12本の金属弦が特徴的です。ポルトガル大使館所蔵で、ファドの女王アマリア・ロドリゲスのサインが入っています。

5



ポルトガルパビリオンユニホーム

日本とポルトガルに自生する「スギ」及び日本の伝統技法「焼杉」をデザインしたポルトガルパビリオンのユニホーム。

6



公式マスコット「UMI(ウミ)」

「海」から来た公式マスコット。ポルトガルと日本を約500年前につないだ海を象徴し、小さくてもたくましく流れに向かうタツノオトシゴです。